

「日本で最も美しい村」 連合加盟 鳥取県智頭町との広域連携事業

日本で最も美しい村デジタル村民の夜明け事業

事業概要

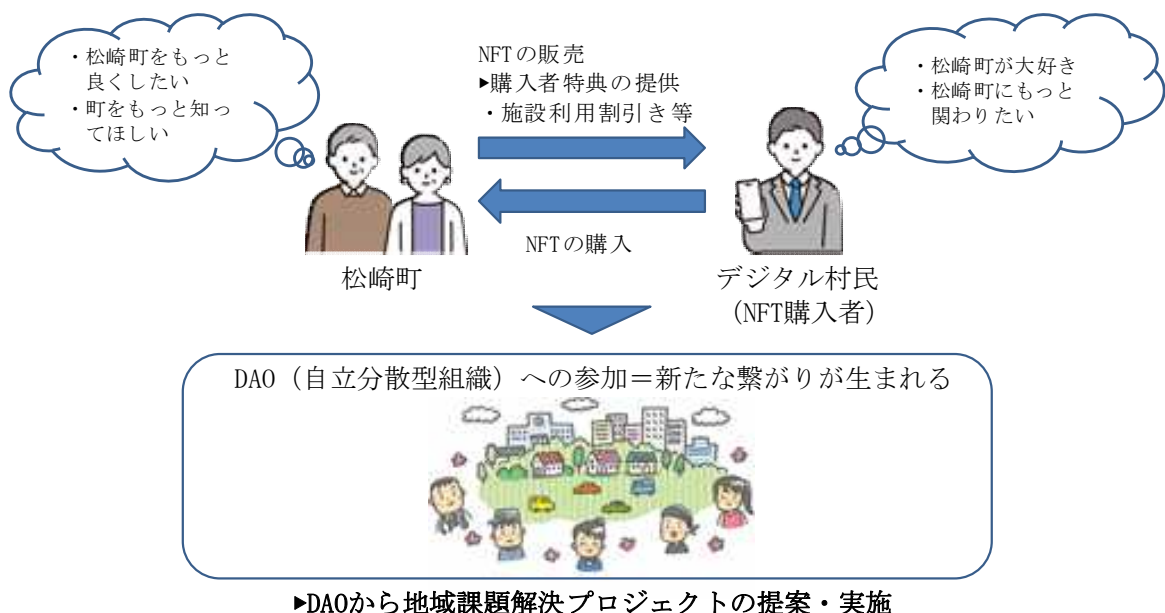
町では今年度から、内閣府の広域連携 SDG s モデル事業の採択を受け、「日本で最も美しい村」連合に加盟する仲間である鳥取県智頭町（ちづちょう）と連携し、デジタル村民という新たな関係人口の創出を目的とした「日本で最も美しい村デジタル村民の夜明け事業」に取り組んでいます。

デジタル村民

この事業では、松崎町の魅力をデジタル資産という形（※NFT）で販売し、購入者を「デジタル村民」として認定し、町内施設の利用時の割引きなどの特典を付与します。また、棚田デジタルオーナー会員券などの地域資源をNFTとして発行することで、新たな町のファンを獲得します。

地域課題解決に向けた事業の実施

デジタル村民や住民で組織する※DAO（自立分散型組織）という仕組みの中、地域課題解決に向けた事業やプロジェクトが提案、議論、実施されていきます。NFTの販売収益を事業資金とするなど、自走した仕組みを目指します。



※NFT…非代替性トークン。唯一無二であることが証明されるデジタル上での資産の事を示します。近年では、デジタルアート作品をNFTとして販売したり、ふるさと納税のお礼の品として使われるなど注目されています。

※DAO…自立分散型組織、特定の管理者や権利者がおらず、組織の方向性や運営方針などを一定のルールに基づいて参加者の投票で決定する組織形態のことです。